

質問 誰もが安心して暮らせる・立つの4つの柱で、相手を大事に思っていることを伝える効果的なケア技法であるユマニチュードの普及について、積極的に取り組む考えは。

答弁 ①これまでも市ホー

質問 誰もが安心して暮らせるまちづくりについて

公明党昭島市議員 松原亜希子 議員

が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションが取れるよう、軟骨伝導イヤホンを市役所窓口などに導入する考えは。③認知症の人の行動・心理状態(BPSD)の発生を抑制することは、当事者の尊厳ある暮らしを守る上で重要である。見る・話す・触

一般質問 (要旨)



上手にまねっこ
(子育てひろば ほりむこう)

質問 GLP昭島プロジェクトについて、①環境基本計画等に適合するよう、地区計画を策定し既得権を制約することは、法令違反や権限濫用に当たるとの。②「水と緑を守り育てるゾーン」が準工業地域であるのは都市計画法に反するのでは。③開発事業等に対し、住民との協議の義務付けや紛争調停などを行えるよう、条例制定すべき。

日本共産党昭島市議員 大野ふびと 議員

答弁 ①制限内容の必要性・合理性を地権者に説明し、

質問 GLP昭島プロジェクトに対し市が行行使し得る権限について

あり、本市としての条例の在り方を検討している。②新たに講じる対策は、関わる部分であることから、市の設置や研修、街頭キャン

る校は伐採・伐根し、新たにあきしまさくらを植樹するなど、世代交代・景観保全に努めていることから、事業の普及促進に寄与しているものと認識している。

質問 倒木による事故防止のため、市が管理している街路樹などの高齢の樹木は、植え替え等の対応が必要と考える。対応は。

答弁 枯れた木などを確認した際は、速やかに伐採し新たな樹木の植樹に努めている。

自由民主党昭島市議員 美座たかあき 議員

住環境の整備について

質問 植木生産振興会が進めているあきしまさくら事業について、緑地の保全や市民の憩いの環境を維持するという観点から、市としても推進すべき。考えは。

答弁 倒木等の危険性のあ

討 論

国に対し、当面の間現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書の提出を求める陳情書を不採択とする委員長報告について

反対

日本共産党昭島市議員 大野ふびと 議員

国は、マイナ保険証利用により医師等との円滑な情報共有が可能としているが、診療から情報共有までに1か月半程度を要し、医療事故のリスクも認識すべき。また、保険証の廃止に伴う被保険者資格の確認方法に反対する。

請 願 ・ 陳 情			
陳 情 件 名	提 出 者	審査委員会 審 査 結 果	本会議の 審 議 結 果
東京都昭島市役所職員による以下の対応に対する陳情	昭島市郷地町の住民	総務委員会 不採択	不採択
国に対し、当面の間現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書の提出を求める陳情書	東京土建一般労働組合 多摩西部支部 代表者	厚生文教委員会 不採択	不採択